

科目名	声楽実習 A, D	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	戸山 志津江	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

将来教職に就き、歌唱指導を行なう際に必要となる声楽の基礎を学び、実習を通して理解を深める。さらにはピアノでの弾き歌いができるようになることが望ましい。

＝履修の条件と学習の方法＝

他の人の演奏を聴くことも大変重要なので、休まず出席すること。また歌はもちろんのこと、ワンポイントレッスンやコンコーネの伴奏も十分練習してきてください。

＝授業内容＝

実習の形で進めていくため、学生達の状況に応じて変更の可能性はあるが、おおむね以下の流れで行なう。

(曲目は前年度の例)

毎回の発声練習、コンコーネ 50 番に加え、中学、高校の教科書より選んだ歌曲を歌うことを通して、呼吸、発声、外国語や日本語の発音等を正しく身につける。また、ペアを組んで歌と伴奏のワンポイントレッスンを行ない、歌唱への理解を深め指導の現場で生かせるようにしたい。

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 発声練習、コンコーネ 50 番より（毎回 1、2 曲ずつ進めていく）
- 3回 イタリア語で歌う① 帰れソレントへ
- 4回 イタリア語で歌う② ニーナ
- 5回 イタリア語で歌う③ カロ ミオ ベン
- 6回 ドイツ語で歌う① 春へのあこがれ
- 7回 ドイツ語で歌う② シューベルト 野ばら
- 8回 ドイツ語で歌う③ 汝れを愛す
- 9回 ドイツ語で歌う④ ブラームス 子守歌
- 10回 日本語で歌う① 夏の思い出
- 11回 日本語で歌う② 浜辺の歌
- 12回 歌と伴奏のワンポイントレッスン①
- 13回 歌と伴奏のワンポイントレッスン②
- 14回 歌と伴奏のワンポイントレッスン③
- 15回 まとめ
- 16回 実技試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

最終回に実施する実技テストの成績に、出席状況、授業中の態度等も平常点として加味して評価する。

＝テキスト（必携）＝

《No. 1》

書籍名：イタリア歌曲集 1 中声用

著者名：畑中良輔（編）

出版社：全音楽譜出版社

《No. 2》

書籍名：コンコーネ 50 番 中声用

著者名：畑中良輔（編）

出版社：全音楽譜出版社

※必要に応じてプリントも配布する